

都立図書館DXの現在の取組状況

資料5

事項	概要	取組状況
レファレンスサービス	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者の相談に対し、図書館員が資料やデータベース等、様々なツールを用いて調査し、必要な情報を提供・紹介するサービス ●区市町村立図書館への「協力学レファレンス」、教職員への「学校支援レファレンス」、都の職員への「政策立案支援サービス」も提供 	<ul style="list-style-type: none"> ●対面、電話、メール、文書により対応 ●令和3年度「都立図書館利用案内Q&A」（日・英）を公開、令和4年度所蔵資料紹介型チャットボット（自動応答プログラム）を開発
デジタルアーカイブ	<ul style="list-style-type: none"> ●デジタル情報を保存・公開する仕組。都立図書館では江戸・東京関係資料をデジタル化し「TOKYOアーカイブ」において公開 ●都立図書館が収集したボーンデジタル（デジタル版でのみ作成され流通する情報）の東京都行政資料も「TOKYOアーカイブ」において公開 ●デジタル化した資料を活用し、「江戸・東京デジタルミュージアム」「都市・東京の記憶」といったデジタル展示も公開 	<ul style="list-style-type: none"> ●令和3年度「TOKYOアーカイブ」公開資料のオープンデータ化（二次利用に適した形での提供）完了 ●令和4年11月、国内の様々な文化機関等のデジタルアーカイブを横断検索できる「ジャパンサーチ」との連携を開始 ●貴重資料のデジタル化及び公開を計画的に推進
電子書籍・オンラインDB	<ul style="list-style-type: none"> ●事業者との契約により、デジタル形式で利用できる書籍やデータベース等のコンテンツを提供 	<ul style="list-style-type: none"> ●館内でのみ閲覧可能、一部の電子書籍は令和2年10月から区市町村立図書館の端末でも閲覧可能
デジタルブックシェルフ（電子書架）	<ul style="list-style-type: none"> ●書庫の資料や電子書籍をバーチャルな書架イメージとしてデジタルサイネージや端末で一覧できる仕組。電子書籍の閲覧（館内のみ）、書庫にある資料の取出し依頼も可能とした。 	<ul style="list-style-type: none"> ●令和5年6月、館内デジタルサイネージにおいて提供開始
ディスカバリーサービス	<ul style="list-style-type: none"> ●蔵書に加え、電子書籍やオンラインデータベース等を一括で検索する機能を提供 	<ul style="list-style-type: none"> ●令和5年3月より提供開始
複写サービス	<ul style="list-style-type: none"> ●著作権法第31条その他当館の規定の範囲内において、来館または郵送により資料の複写物を提供 	<ul style="list-style-type: none"> ●来館時の複写料金の支払いは、令和4年6月から交通系電子マネーでのキャッシュレス決済が可能
図書館等公衆送信サービス	<ul style="list-style-type: none"> ●著作権法改正により、権利者への補償金支払いや厳格な要件下での管理を条件に令和5年6月から資料の複写物のデータ送信が法律上可能となった 	<ul style="list-style-type: none"> ●サービス開始に向けて検討中
座席予約サービス	<ul style="list-style-type: none"> ●館外及び館内からオンラインデータベース、インターネット検索端末、調査研究ルームの座席予約ができる仕組 	<ul style="list-style-type: none"> ●令和5年1月より提供開始
障害者サービス	<ul style="list-style-type: none"> ●登録利用者に対しDAISY図書（デジタル形式の録音資料）等の作成・貸出、音訳サービス（ボランティアが情報を音声化）等を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●令和5年7月よりオンラインでの音訳サービスを開始